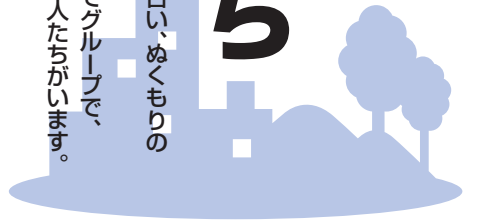


この街が 好きだから

みんなで手を携え、支え合い、ぬくもりのある街にしていきたい。
そんな思いを胸に、地域でグループで、生き生きと活動を続ける人たちがいます。



パソコンの技術習得で障害者の就労を目指す ～NPO法人札幌チャレンジド

障害者向けにパソコン講習などを行っている団体が「札幌チャレンジド」。事務局長の佐藤美由紀さんは、「視覚、聴覚、上下肢など物理的な制約のある障害者にこそ、文章作成やメール交換などが容易なコンピューターは必要なのです」と語ります。結成は平成十二年五月。身体、知的など障害のある方を対象に、平日を中心に公共施設などでほぼ毎日講習会を実施しています。パソコンの使い方からホームページづくりまで、レベルに応じて受講することが可能。講師のほかに、補助ボランティアが付くので、一人では不安な方にも安心です。

「障害があるからこそ、自



講習は1クラス10人程度の少数単位。その日覚えたメール交換を行うなど、和やかな雰囲気包まれています(中央後ろが補助ボランティアを務める佐藤さん)

脳性まひのため、手足に障害があり、初めは受講者として参加しました。「技術が身に付くにつれ、何か人の役に立てることはないだろうかと思うようになり、まずは講習の補助として参加しました」と語る高橋さんは、市が実施した障害者向けIT講習会の講師としても活躍しました。

団体の大きな目標は、パソコンの技術を生かし、障害者の就労を実現することです。現在、メンバーの皆さんは、パソコンを使った仕事を、インターネットでやり取りする体制づくりに力を入れていきます。「講習で知識を身に付けても、仕事に就ける人はごく一部です。これからはその一歩先を手助けしていきたい」と佐藤さんは話します。

「パソコンは、今までできなかったことがキー一つでできるようなものになる魔法の箱です。一緒に始めてみませんか」と高橋さんは呼び掛けます。興味のある方は事務局 ☎(261)0074へ。

わくわく子育て通信

悩みを抱える多くの人の力になりたい



YOU・勇・コール
羊ヶ丘養護園 家庭養育相談室
三浦 伸子さん

や、面談する必要があると判断したケースには、市の児童相談所と連携しながら、じっくりとかかわっていくこともあります。不登校の子供が施設行事に参加したのをきっかけに、同年代の子とのかわり方を身に付け、学校に通うようになったという例もあるんですよ。

大学で児童福祉に興味を持ち、卒業後、養護園に就職しました。以来二十八年間、さまざまな家族の形を見続けてきましたが、親子の葛藤というのには、いつの時代も変わらないのではないのでしょうか。そうした気持ちを持って、どんな相談でも、まずは相手の言葉に耳を傾け、聞き役に徹するようにしています。家族の相談に限らず、誰かに話を聞いてもらうだけでも、肩の荷が下りるものでしょうか？悩みを解決する第一歩は、一人で抱え込まず、打ち明ける「勇気」を持つことですよ！(談)

YOU・勇・コール

子供と家族に関する相談を24時間受け付けています。育児相談から、いじめ、ひきこもりといった悩みまで、お気軽にお電話ください。相談は無料です。

☎ 854-2415
FAX 836-4152